

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度第1回加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会		
開催日時	令和7年9月16日(火) 午前10時00分から11時25分まで		
開催場所	加東市役所 2階 202会議室		
議長の氏名 (会長 加藤久恵)			
出席及び欠席委員の氏名			
出席者:(7人) 加藤 久恵、松野 順二、大久保 雅、福原 拓己、石井 隆文 近松 照芳、竹内 守男			
説明のため出席した者の職氏名			
出席した事務局職員の氏名及びその職名			
秘書広報課	課長	三和田剛浩	
秘書広報課	広報広聴係 係長	石田 幹治	
秘書広報課	広報広聴係 主事	樋口 哲平	
秘書広報課	広報広聴係 主査	西山 太	
秘書広報課	広報広聴係 番組制作員	藤井 宣博	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
議事事項			
(1) 番組の視聴 (P1)			
(2) 令和7年度番組制作、編成について (P2)			
(3) 加東ケーブルビジョンの伝送について (P6)			
(4) その他			
会議資料			
令和7年度第1回加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会次第			
会議の経過			
別紙「令和7年度第1回加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会」会議の経過 のとおり			

(別紙)「令和7年度第1回加東市ケーブルテレビ施設放送番組審議会」会議の経過

発言者	会議の経過/発言内容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議事事項 (1) 番組の視聴
議長	視聴した番組に対してご意見ありますか。
委員	今年は終戦 80 年の節目である。私は親が戦争を経験したため、子供の頃、戦争について語っていたことをよく聞いた。しかし、現在当時の記憶を語られる方が減っているが、この番組は後世に伝えることが出来るためにも意義深い。口で平和だけ伝えてもダメ。平和になるための努力をそれぞれが身の回りで実践していくことが大事だと思う。
委員	平和について、今まで深く考えたことは無かった。貴重な映像を今後も残して欲しい。
委員	質問の仕方、テロップ、BGMのタイミングや室内での撮影の方法なども努力されていた。しゃべり一辺倒でなく、メリハリのある演出も良かった。
委員	今の映像を見て、昔、親から聞いた戦争の話が蘇った。平和の大切さを改めて感じた。
委員	リアルな話を伝えることが出来るのは、映像だからこそ。NHKで制作した戦争体験の番組を見た時、これは都市部の出来事をドラマ化していると思ったが、滝野地域で実際に空襲があったことを知り、身近に感じるとともに、若い人に伝えることも大事と思った。この映像を残すことが平和に繋がると感じた。
委員	地域の人が出演しているため、信憑性がある。KCVが更に普及し、このような番組で平和を伝えることが大事。
議長	身近な人が語っているため、自分事として若い世代にも捉えることが出来る。写真や、被弾したタンスの映像が演出されており、当時の状況が伝わることは、テレビの良さだと感じる。せっかくの良い話だが、テロップが少なく聞き取りにくい箇所もあった。
事務局	この番組は、体験者本人のリアルな声を活かして作った。テロップを入れすぎると本人の気持ちや内容に食い違いがあってはいけないので、状況に応じ、説明として入れた箇所があった。
委員	私は、テロップのタイミングが良く、見る側のストレスは感じなかった。
委員	インタビュアーにピンマイクがあれば更に良かったのではないかな。

事務局	その方が良かったと感じる。
委員	照明は使ったのか。
事務局	太陽の光がかなり眩しかったので、カメラでなるべく調整した。
委員	広報担当と同行された様だが、質問者はどちらがしたのか。
事務局	広報担当が行い、ケーブルテレビは撮影のみです。
委員	私は、広報かとうの戦争の記事を事前に読んでいたため、この放送でより分かった。広報では伝わりにくい、リアルの部分も良く理解できた。
事務局	テレビと広報の取材を同時に行うことがあるが、映像と文字の違いに難しさがある。広報担当曰く、今回は体験記なので生の声を出来るだけ活かしたいとの思いがあるが、普段の話し言葉を文字化すると分かりにくくなり、ここを変えると本人の思いと違う表現になることがある。 映像は少しテロップを入れたが、なるべく生の声を活かせることが出来る。テレビとしての良さは出せたのかなと思う。
事務局	(2) 令和7年度番組制作、編集について 事務局より説明
議長	ご意見ありますか。
委員	KCVは色んな事業をまんべんなく放送しているが、カラーが弱く、ポリシーが欲しいと感じる。私は、地方の祭りや伝統行事などを興味深く取り上げている放送を見る。加東市は住みやすいまちで、都市化した地区がある反面、若い人がいなくなり、秋祭りや文化行事が廃り、昔ながらの習慣、慣習が薄れている状況があることが残念である。 私はKCVに、この廃れていった地区の諸行事や、地域の守るべき行事などを表に出して欲しく、そのためのツールとして力を発揮して欲しい。
議長	昔の地区の祭りの映像を流すことですか。
委員	今、各地区の盆踊りや秋祭りなどの放送はありがたい。行政が、このまま何もしなければ過疎化で廃れていく地区が多くなると思う。私は、KCVに、文化や祭礼などを守り引き継ぐポリシー持ってもらい、これらの映像もっと取り上げて欲しいと感じる。
議長	貴重なご意見ありがとうございます。
委員	小中学校の運動会などは視聴率が高いと思う反面、7人のKCV職員数では限界があると思うが、うまく考えながら今後も続けてほしい。 滝呼は約100人で若い子が多く、主にボランティアとして高齢者施設などで活動しているが、高齢者は喜びを感じているので、KCVでドキュメンタリーで取り上げてはどうか。

委員	この案は面白い。編集が大変だろうが、現在のニュースや地域の番組のほか、これを新たに取り込むことで全体の番組構成として、メリハリのあ るものが出来るのではないかな。
委員	形にはまらない、ドラマチックで心に響くものが出来れば面白い。
事務局	地区行事の情報は、主に地区の区長さんから行事予定表や個別での連絡により収集しており、取材の対象は、取捨選択している。地区の行事は参加人数が少なくて恥ずかしいなどの理由で呼びいただけいないなど、取材の許可が得にくいケースが多い。行きたくてもこのような理由で行けないこともあるのでご理解いただきたい。 反面、今まで行けなかったが、今回ようやく行けた行事もある。それらが積み重なり良い番組づくりにつながるので、些細なことでも結構なので情報が欲しい。 ドキュメンタリーの件ですが、人が常に張り付く必要があること、また機材、人員などの理由により期待に応えにくい状況であることをご理解いただきたい。 KCVとしては、今日視聴してもらった「戦争体験記」のほか、既に放送済の「加東市フットパスを紹介した番組」など、新たな番組を積極的に制作、放送する予定としている。今後も、新たな番組づくりのヒントにしていきたいので、皆様の貴重なご意見をいただきたい。
事務局	(3) 加東ケーブルビジョンの伝送路について 事務局より説明
議長	全体を通して意見があれば。
委員	KCVはテレビ大阪が入ることと、子供が出ている番組が多いため、今後も続けて欲しい。他市の友人曰く、加東市のケーブルテレビをうらやましいと言われるため、存在と役割は大きい。
事務局	(4) その他 その他について事務局から説明
議長	他に何かご意見ありますか。
委員	今年度市政 20 周年となる。式典でKCVが作成した映像を流す予定はあるのか。
事務局	式典は令和 8 年 3 月 20 日に実施する。この時に映像を放映するかは、現在未定である。20 周年の事業期間は、この 9 月から来年の 11 月までで、既にスタートしたものや、今後計画しているものなど色々とある。 秘書広報課では、「ありがとう あなたと 20 年」として募集しており、広報、ケーブルテレビ、SNSやホームページなど担当課と調整しながら実施していく。
議長	議事終了

副会長	4 閉会 閉会あいさつ
-----	---------------------------